

古典芸能を“偏愛”する二人のトーク&レクチャー

おしゃべり 古典 サロン

vol.5

8月1日[土]

14:00～16:00 (途中休憩有)

※13:15より受付開始

MIE CENTER FOR THE ARTS
三重県総合文化センター

フレンテみえ 多目的ホール

料金: 1,000円

※当日受付にてお支払いください。

定員: 150名 (事前申込制・先着順)

本講座は三重県のガイドラインにおける「主催のイベントの開催基準」に則って、開催します。感染症対策については、ご来場前に当館ホームページをご確認ください。

※今後の社会情勢により、中止または延期の可能性がございます。

講師:



木ノ下裕一

木ノ下歌舞伎主宰



田中綾乃

三重大学人文学部准教授

6月13日(土) 申込受付開始

問合せ: 三重県文化会館チケットカウンター

TEL059-233-1122 ※10:00～17:00/月曜休館(祝日の場合翌平日)

人形浄瑠璃と
歌舞伎を見比べ!

真夏の大阪。賑わう宵宮の最中に起きた惨劇。
俠氣溢れる三人の男とその妻たちの、手に汗握る人間ドラマ。
並木千柳、三好松洛、竹田小出雲ら、人形浄瑠璃の全盛期を築いた三人の合作として、延享2年7月、
竹本座で初演。その人気ぶりからわずか翌月には歌舞伎化されました。人形遣いの名手・吉田文三郎
が発案した本水・本泥を使った演出で観客を驚かせた人形浄瑠璃に対し、ケレン味たっぷりの役者の
立ち回りとダイナミックな演出が目を惹く歌舞伎。夏芝居の代名詞を題材に、切っても切れない人形
浄瑠璃と歌舞伎の双方の魅力を見比べてみましょう。

夏祭浪花鑑

なつまつりなにわかがみ